

# カムエク登山（その3）

2015-07-04

7/4 八の沢テント場 3:55~5:35 三股 5:45~6:05 滝上

6:15~8:40 八の沢カール 8:45~9:20 ピラミッド峰分岐~10:30

カムエク山頂（1979M）11:00~11:45 分岐~12:20 八の沢カール

12:25~14:20 滝上 14:35~16:10 テント場（泊）

北海道の朝は早い、今日はいよいよ山頂往復過半数の登山者はそのまま下山するが、私は体力的にテント場2泊を決めていた。濡れたままの沢靴で歩きだす、何回か渡渉するが、水量の多い9の沢の合流する上部なので渡渉は苦勞しない。

大雨で荒れたようで流木が物凄く多く歩きづらい。沢に沿って歩くので道間違いも三股までは心配ない。前方に目指すカムエクがクッキリと姿を現した、胸が高鳴る。

カムエクが見えてきました

流木と雪渓



三股からの滝の高巻~八の沢カール底間は今季初めて我々が歩くので足跡等は全く無くルートファインディングしながら遡上する。テープも少ないので2箇所ほどで少し時間がかかった。三股から一気に高度を稼ぐ地形なので、斜度もきつくなる。

流木が多くて歩きづらい



三股、真ん中の滝の右側を高巻きする



三股、真ん中の滝の右側を高巻きする



ルートファインディングしながらの高巻き



途中で沢靴から登山靴に履き替えて軽アイゼンを装着するが、雪も腐ってきているので効き目が少なく滑る。下山時は要注意だ。八の沢カール着、やっとカムエクが近ずいた。3名がヒグマに襲われた場所で、慰霊碑を探すが見当たらない。残雪が多くここからは本来道がハッキリしているはずなのだが（山頂まででは一番踏み後が）分らない、ピラミッド峰との鞍部を通る事はネットで見て知っていたので、

最後の滝



やっと八の沢カールに



カールの左端を鞍部目指して適当に登ると踏み後が現われた。下を見下ろすと歩いてきた八の沢がハッキリと見える。鞍部の分岐からは高山植物が多くなる。

ヒグマの糞がアチコチに



ピラミッド峰



山頂の手前は物凄いハイマツが踏み後を覆っていて歩きづらい事、笹かぶりと違いハイマツの枝は弾力があるので兎に角苦労する。背の高いハイマツなら平泳ぎできるがここのは強風のせいか膝上位なので全身を拒む。小雨も舞ってくる悪天候になるが山頂到着。

右から登って来ました



お花畑



カムエクが近づきました



時々部分的に展望があるのが救いで、展望を楽しむ。達成感に満ち溢れた感慨深い登頂で我が山人生で一番充実した登山になった。その(4)に続きます

赤沼健治